

2025 年 7 月 16 日

(資料)

富士急モビリティ株式会社

当社管内における乗合バス事業及び運転士等の確保状況について

平素より、関係各位の皆様におかれましては、弊社乗合バス事業に対しまして、多大なるご支援、ご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

さて乗合バス事業を取り巻く環境は依然として厳しい状況が続いております。慢性的な運転士不足、2024年問題対応等、当社においても同様な状況であり、運転士をいかに確保していくかが喫緊の重要課題であります。そこで下記の通り、当社管内における乗合バス事業及び運転士の確保状況等の現状について、お知らせしますので何卒ご理解の程、宜しくお願い申し上げます。

記

1. 当社の主な運転士確保策

- ・コロナ禍以降3年連続賃上げ実施
(3年間累計 月額基本給22,500円アップ)
- ・年間休日数の見直し91日⇒100日に変更(令和7年4月1日から)
- ・キロ手当の見直し、応援手当(2,000円)の新設
(乗合8.8円変更なし、貸切10円(+2円)、高速5円(+1円))

2. 2024年4月改正、バス運転士の主な改善基準告示内容

【拘束時間】()内は改正前

1年:3,300時間(3,380時間) 最大3,400時間(3,484時間)

1ヶ月:281時間(281時間) 最大294時間(309時間)

※最大は年6ヶ月まで

【1日の拘束時間】

13時間以内(上限15時間、14時間超は週3回まで)

【1日の休息時間】

継続11時間以上を与えることを基本、最低でも9時間(8時間)は下回らないこと

3. 弊社、御殿場営業所の入退社状況(令和6年度)

- ・予算定員39名 現在人員34名 予算比▲5名
- ・入社8名、退社5名
- ・主な退社理由 拘束時間が長い、休みが少ない、家庭の事情等

4. 当社の拘束時間概要

- ・当社の仕業数は21仕業(一般路線バスのみ)あり、平均拘束時間は11時36分
- ・21仕業の内13時間超ある仕業は12仕業(57%)
- ・21仕業の内、早番、遅番仕業は4仕業あるが、殆ど圧縮せざるを得ない状況
- ・収入割合における事業別運転士配置数
乗合22名、高速4名、貸切4名、契約4名 合計34名
- ・事業別損益
乗合事業 一部の系統のみ黒字、それ以外の系統は赤字
高速、貸切、契約の各事業は黒字

5. 今後について

- ・採用が困難な状況下では、なかなか運転士の純増は望めないと思料し、現状維持ができれば良い方である。
- ・現在、運行している乗合バスの内、利用率の低い路線については減便を検討せざるを得ない。
- ・別途減便対象路線、実施時期は協議させていただきたい。
- ・今後、関係機関(御殿場市、静岡運輸支局等)へ相談の上、実施予定、また必要であれば地域公共交通会議へ諮ります。
- ・その他、6月末まで小山町デマンドバス(別添)で使用していたハイエースタイプの12人乗りの小型車両を乗車率の低い路線に充当することも併せて検討させていただきたい。

6. 減便効果

- ・拘束時間の短縮により、労働環境の改善を図る。
- ・労働環境の改善により、離職防止を図り、健全経営を推進していく。
- ・減便により、排出した人工を他事業へ転用し営業収益の向上を図る。

以 上

